

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年5月29日(2008.5.29)

【公開番号】特開2008-86839(P2008-86839A)

【公開日】平成20年4月17日(2008.4.17)

【年通号数】公開・登録公報2008-015

【出願番号】特願2007-338933(P2007-338933)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 8

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月10日(2008.4.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数種類の識別情報を変動表示可能な表示装置を備えた遊技機において、

上記表示装置は、

表示面が正面側に向くように配置され、前後方向に移動可能な主表示装置と、

上記主表示装置の周囲の少なくとも一部に配置されるとともに、表示面が主表示装置の表示面と角度をなして且つ主表示装置が前側位置にある場合において該主表示装置側に向いた状態で配設される、少なくとも1以上の副表示装置と、  
を有し、

上記主表示装置は、副表示装置の表示面を覆うことにより表示面が視認困難な第1位置と、該第1位置より後退して副表示装置の表示面を現すことにより表示面が視認可能な第2位置とに亘って移動可能に構成されていることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明は、上述した問題点を解決するためになされたものであり、遊技球が流下可能となる領域を減少させることを抑制しつつも、図柄等が表示される表示面を実質的に大きくすることが可能な遊技機を提供することを目的としている。